



第
11
号
《平成二十八年神意月》
ニューズレター

関
蟬
丸
芸
能
祭

平成 28 年度 総会 開催報告

平成 28 年 8 月 27 日（土）、旧大津公会堂にて関蟬丸神社芸能祭実行委員会の平成 28 年度総会を開催しました。平成 27 年度事業報告と会計決算・監査報告が行われ、第三回関蟬丸芸能祭開催に向けて、会長 川戸良幸（琵琶湖汽船株式会社代表取締役社長、元氏子）のもと、実行委員ならびに運営体制を決定しました。

第三回関蟬丸芸能祭 開催日のお知らせ

開催日が平成 29 年 5 月 28 日（日）に決まりました。

第三回関蟬丸芸能祭出演者を募集します

能や狂言などの芸能はもちろん、広く歌舞音曲を発表いただける、出演者を募集いたします。

- 募集期間 平成 28 年 10 月 1 日～12 月 28 日（郵送受付の場合は期間内消印有効）
- 募集数 10 組程度
- 募集ジャンル 舞踊・落語・器楽演奏・声楽など
（大人数での参加、大きな機材の使用、ダンスなど動きが激しい演奏演舞は不可）
- 応募方法 下記 URL から申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、お申込みください。
<http://semimaru.ehoh.net/geinousai.html>
演奏・演舞の内容のわかる音源（DVD、動画、ホームページなど）を添えて、ご持参いただくか、郵送にてお送りください。動画を web にアップされている等、DVD などの郵送物がない場合は、申込用紙のみの FAX でも可能です。
※お申込み後はメールにて返信いたします。受付確認メールが届かない場合はお問い合わせください。また、お送りいただきました CD、DVD は返却できませんのでご了承ください。
- 応募お問合せ 関蟬丸神社芸能祭実行委員会事務局
〒520-0047
大津市浜大津一丁目 4-1 旧大津公会堂 2 階（株まちづくり大津 内）
電話：080-3822-5655 <担当：加藤> FAX：077-514-7690
メール：semimaru2015@yahoo.co.jp
- 結果発表 平成 29 年 1 月下旬 ホームページにて発表予定

第二回関蝉丸芸能祭 開催報告

皆様には多大なお力添えを賜り誠にありがとうございました

- 【開催日】平成 28 年 5 月 29 日 (日) 午前 10 時～午後 7 時
- 【会 場】関蝉丸神社下社
- 【奉納演者】23 組
- 【来場者】約 1,300 人
- 【主 催】関蝉丸神社芸能祭実行委員会
- 【後 援】滋賀県・滋賀県教育委員会・大津市・大津市教育委員会
・大津市中心市街地活性化協議会・大津商工会議所・
(株)まちづくり大津・(公社)びわ湖大津観光協会・
(一社)大津市商店街連盟・(一財)地域活性化センター・
大津の町家を考える会・大津ジャズフェスティバル実行委員会
- 【協 力】関蝉丸神社

開会式



西村有香里(ジャズ)



宇高竜成・景風会(能楽 金剛流)



大津祭郭巨山保存会(郷土芸能)



竹内友美(細棹三味線)



打出中学校吹奏楽部(吹奏楽)



音羽流滋賀邦舞研究会(日本舞踊)



和太鼓集団 湖鼓 R O (和太鼓)



大津あきのた会(競技かるた)



田中敏長(龍笛)



宮本謙二 大津曳山カゴト管楽カガール(木管カガール)



悠紀笛の会(篠笛)



濱三津夕子(日本舞踊)



桔梗館みやび支部(剣舞・詩舞)



みやび会(箏三絃)



かみの一座(獅子舞)



草津高校書道部(書道)



大津で落語を楽しむ会 大亭都若(落語)



ヒガシ逢ウサカ(漫才)



サザキヒロシ(ギター弾き語り)



大津祭源氏山囃子保存会(郷土芸能)



筑前琵琶橋流日本橋会旭城会(琵琶)



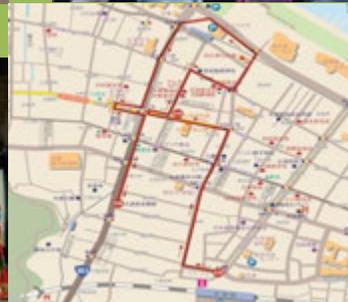
八坂雅楽会(雅楽)



閉会式



こうあん一座(ちんどん屋 一日巡行)



芸能の祖神 蝉丸

蝉丸は平安時代前期の歌人で、『小倉百人一首』(鎌倉時代)に収録されている「これやこの行くも帰るも別れては知るも知らぬも逢坂の関」の和歌で知られる。『御撰和歌集』(平安時代中期)、『新古今和歌集』(鎌倉時代)、『続古今和歌集』(鎌倉時代)に計 4 首の和歌が採録されている。皇室の御物と伝えられる琵琶の名器「無名」を愛用していた琵琶法師の祖とされるが、その人物像ははっきりしない。生没年も不詳であるが、旧暦 5 月 24 日が「蝉丸忌」とされている。

蝉丸に関するさまざまな伝承は、『今昔物語集』(平安時代後期)、『平家物語』(鎌倉時代)などの文献に見られる。

『今昔物語集』巻第 24 第 23 話によると、宇多天皇の第八皇子敦実親王に仕えた雑色だったが、盲目になり逢坂の関のほとりに庵を結んだとある。敦実親王は琵琶の名手だったこともあり、蝉丸は仕えるうちに自然と琵琶を弾くようになった。特に秘曲と言われた「流泉」「啄木」の二曲は、親王の亡きあと世に絶えたため、伝える者は蝉丸だけとなっていた。円融朝に管絃の名手として聞こえていた源博雅は、何とかしてこの二秘曲を聴きたいと思い、三年間毎夜、蝉丸の庵のほとりに立つのだが、なかなか聴けない。三年目の仲秋の名月の夜、月光に濡れて琵琶を弾く蝉丸の姿を見た博雅は、思い切って声をかけ、夜すがら音曲を語り合い、ついに「流泉」「啄木」の二曲を口伝えに伝授されたという。

『平家物語』では、蝉丸は醍醐天皇の第四皇子で、生まれながらにして盲目だったとする。関蝉丸神社ではかつて旧暦 9 月 24 日に逆髪祭を行っていた。逆髪は蝉丸の姉宮で、「縁髪顛倒す」(曲亭馬琴『俳諧歳時記菜草』1803)、つまり髪が逆立っていたので逆髪の名で呼ばれたという。この名は「坂上」から転じたようであるが、逆髪は逢坂に住む蝉丸を訪ねて慰め、天慶 9 年(946)9 月 24 日に亡くなったと伝えられている。能に世阿弥の『蝉丸』(4 番目物の狂女物)という曲があるが、これらの伝説に博雅の故事を組み合わせたものである。人形浄瑠璃にも近松門左衛門の『源氏烏帽子折・蝉丸』がある。

なお、蝉丸は諸国を流浪し、越前の陶の谷に辿り着き、農家滞在中に病気のため亡くなったという言い伝えが福井県越前町宮崎地区にある。遺言により村人が建てたと言われる墓があるが、詳細ははっきりしていない。

企業協賛のご案内

第三回関蝉丸芸能祭の開催に向けて、芸能祭の趣旨と目的に賛同いただける企業・団体様方に、協賛金(一口 10,000 円)をお願いしております。

事務局までお問い合わせください。2 口以上ご協力いただけますと「関蝉丸芸能祭のぼり旗」にお名前を掲載させていただきます。のぼり旗の本数には限りがございますので、お早めにお申し込みください。



個人協賛(芸能祭サポーター)募集

第三回関蝉丸芸能祭の開催に向けて、芸能祭の趣旨と目的に賛同いただける個人の皆様方に、芸能祭サポーターとして協賛金(一口 1,000 円)をお願いしています。ご協力いただける方は、右記へのお振込み、または事務局までお問い合わせください。

お振込先

郵便局備え付けの「郵便振替払込取扱票」に
加入者名 関蝉丸神社芸能祭実行委員会
口座記号番号 00900-0-235648
 とご記入の上、お振り込みください

関蝉丸芸能祭ニュースレター<第 11 号 2016(平成 28)年 10 月発行>

発行責任者: 関蝉丸神社芸能祭実行委員会 会長 川戸良幸

問合せ先: 滋賀県大津市浜大津一丁目 4-1 旧大津公会堂 2 階 (株)まちづくり大津 内
 (電話) 080-3822-5655 <担当: 加藤> (FAX) 077-514-7690
 (メール) semimaru2015@yahoo.co.jp

関蝉丸芸能祭ホームページ: <http://semimaru.ehoh.net/qeinousai.html>

